宮崎大学本学ウィンドサーフィン部

ウィンドサーフィン活動における安全対策書

（大学生対象／活動場所：青島海水浴場・一ツ葉南・大淀川河口）

1. はじめに

本安全対策書は、宮崎県内において大学生がウィンドサーフィンを安全に実施するための基本的な対策を示す。活動エリアは青島海水浴場・一ツ葉南（宮崎港周辺）・大淀川河口部とし、それぞれの環境特性を踏まえたリスク管理を徹底し、事故の未然防止を図る。

---

2. 活動エリアの特徴と注意点

青島海水浴場（外洋）

・太平洋に面し、波・風の影響が大きい。
・北東風・南西風の際は波が荒れやすく、出艇を控えること。
・観光客やサーファーとの接触を避け、遊泳区域から十分に離れて活動する。
・夏季は監視員と連携を取り、エリア分けを明確に行う。

一ツ葉南（宮崎港湾内）

・港湾内で比較的穏やかだが、風が弱い日は操作困難。
・漁船や作業船との接触リスクがあるため、航路や作業エリアへの立ち入りは禁止。

大淀川河口部

・潮位や風の変化により流れが急激に変化することがある。
・橋や堤防、浮遊物との衝突に注意し、干潮時の浅瀬にも留意する。
・流されやすいため、風向きと潮位を常に意識して行動する。

---

3. 共通の安全対策

(1) 気象・海象の確認

・活動前に気象庁・海上保安庁・潮見表などで風速・波高・潮位・警報の有無を確認。
・風速 10m/s 以上、雷注意報等が出ている場合は活動中止。

(2) 装備と服装

・ライフジャケットおよびウェットスーツの着用を義務付ける。

・器材の破損や異常は事前に必ず点検する。

(3) 監視・連絡体制
・活動者の人数・時間・エリアを把握する。
・防水携帯で連絡手段を確保。バディ制での行動を基本とする。

(4) エリア管理
・活動エリアから逸脱しないよう、目印やブイの設置を活用する。
・他の利用者（観光客・釣り人・漁船等）とのトラブル防止に努める。

---

4. 緊急時の対応

・事故や体調不良時はすぐに帰岸、または陸上支援者へ救助要請を行う。
・応急処置セットを常備し、擦過傷・熱中症・衝突事故に備える。
・緊急連絡先（119、海上保安部、大学顧問等）を全員で共有する。

---

5. 活動後の確認

・器材・体調の確認を行い、ヒヤリハット等は記録・報告する。
・周囲の清掃を徹底し、環境保全と地域との共生に配慮する。

---

6. 保険加入について【推奨】

活動参加者は、日本セーリング連盟（JSAF）への登録および付帯保険の加入を強く推奨する。
個人・団体の責任において適切な保険に加入し、事故時の補償体制を整えること。

以上の対策を遵守し、安全かつ持続的なウィンドサーフィン活動を実施する。